



2013年理系第1問

1枚目/2枚

1 次の空欄を適当に補え。

- (1)  $x$  が  $x^2 + x + 1 = 0$  を満たすとする。このとき  $2x^4 - x^3 - 2x^2 - 4x + 2$  の値は (a) である。  
3
- (2) 方程式  $3^{2x+1} + 2^3 \cdot 3^x - 3 = 0$  を解くと  $x = (b)$  である。  
-1
- (3) 2つの単位ベクトル  $\vec{a}, \vec{b}$  に対して、 $2\vec{a} + 3\vec{b}$  の大きさが  $\sqrt{7}$  のとき、 $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  のなす角は (c) である。  
120°
- (4)  $t > 0$  とする。3次関数  $y = x^3 - 3x^2 - 9x + t$  のグラフと  $x$  軸との共有点がただ 1 つのとき、定数  $t$  の値の範囲は (d) である。  
t > 27
- (5) A を含む男子 4 人と B を含む女子 5 人が 1 列に並ぶ。このとき、A と B が隣り合う確率は (e) である。  
また、男子が隣り合わない確率は (f) である。  
\frac{5}{42}  
\frac{2}{9}
- (6) 関数  $f(x) = \frac{1}{2}x^2 - 3 \log(x+2)$  の最小値は (g) である。  
\frac{1}{2} - 3 \log 3

(1)  $x^2 + x + 1 = 0$  より  $(x-1)(x^2+x+1) = 0 \quad \therefore x^3 = 1$

$$\begin{aligned}
 & \therefore 2x^4 - x^3 - 2x^2 - 4x + 2 = 2x - 1 - 2x^2 - 4x + 2 \\
 & = -2x^2 - 2x + 1 \\
 & = -2(-x-1) - 2x + 1 \quad (\because x^2 = -x-1) \\
 & = \underline{\underline{3}}
 \end{aligned}$$

(2)  $t = 3^x (> 0)$  とおくと、方程式は、 $3t^2 + 8t - 3 = 0$

$$\therefore (3t-1)(t+3) = 0$$

$$t > 0 \text{ より } t = \frac{1}{3} \quad \therefore 3^x = 3^{-1} \text{ より } \underline{\underline{x = -1}}$$

(3)  $|2\vec{a} + 3\vec{b}|^2 = 4|\vec{a}|^2 + |2\vec{a} \cdot \vec{b}| + 9|\vec{b}|^2$

$$= |3 + 12\vec{a} \cdot \vec{b}|$$

$$\therefore |3 + 12|\vec{a}||\vec{b}|\cos\theta = 7 \quad \therefore \cos\theta = -\frac{1}{2} \quad \therefore \underline{\underline{\theta = 120^\circ}}$$

2枚目につづく

2013年理系第1問

2枚目 / 2枚



1 次の空欄を適当に補え。

- (1)  $x$  が  $x^2 + x + 1 = 0$  を満たすとする。このとき  $2x^4 - x^3 - 2x^2 - 4x + 2$  の値は (a) である。
- (2) 方程式  $3^{2x+1} + 2^3 \cdot 3^x - 3 = 0$  を解くと  $x = (b)$  である。
- (3) 2つの単位ベクトル  $\vec{a}, \vec{b}$  に対して、 $2\vec{a} + 3\vec{b}$  の大きさが  $\sqrt{7}$  のとき、 $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  のなす角は (c) である。
- (4)  $t > 0$  とする。3次関数  $y = x^3 - 3x^2 - 9x + t$  のグラフと  $x$  軸との共有点がただ 1 つのとき、定数  $t$  の値の範囲は (d) である。
- (5) A を含む男子 4 人と B を含む女子 5 人が 1 列に並ぶ。このとき、A と B が隣り合う確率は (e) である。また、男子が隣り合わない確率は (f) である。
- (6) 関数  $f(x) = \frac{1}{2}x^2 - 3\log(x+2)$  の最小値は (g) である。

(4).  $f(x) = x^3 - 3x^2 - 9x$  とおいて。 $y = f(x)$  と  $y = -t$  のグラフがただ 1 つの

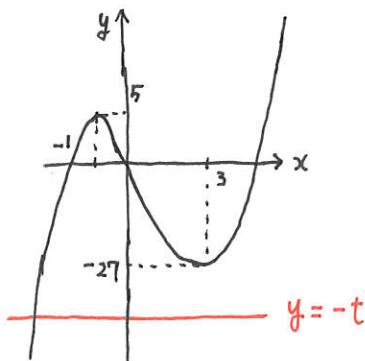
共有点をもてばよいので

$$f'(x) = 3x^2 - 6x - 9 = 3(x+1)(x-3)$$

 $\therefore$  増減表より グラフは右下のようになる。 $t > 0$  より

$$\therefore -t < -27 \quad \therefore \underline{t > 27}$$

$x$	…	-1	…	3	…
$f(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↑	5	↓	-27	↑



(5) AB を 1 つと考えると

$$\text{AB が隣り合うのは } \frac{8! \times 2}{9!} = \frac{2}{9}$$



$$\therefore \frac{4! 5! \cdot 6C_4}{9!} = \frac{5}{42}$$

$$(6) f'(x) = x - \frac{3}{x+2} = \frac{(x+3)(x-1)}{x+2}$$

真数条件より  $x > -2$  より  $f'(x) = 0$  となるのは、 $x = 1$ 
 $\therefore$  最小値は  $\underline{\frac{1}{2} - 3\log 3}$ 

$x$	(-2)	…	1	…
$f(x)$		-	0	+
$f(x)$		↓	↑	↑

$$\frac{1}{2} - 3\log 3$$